

マルガタゲンゴロウ

Graphoderus adamsii

兵庫県：Cランク

環境省：準絶滅危惧 (NT)

種の概要

体長12～14.5mm。体型は卵形で、強く盛り上がり光沢がある。頭部は黄褐色で後頭部と頭頂のV字紋は黒色。全面に微細な点刻を伴なう。前胸背も黄褐色で、前・後縁には黒色の帯紋がある。全面に微細な点刻を装い、基部に浅い縦条をもち、前縁に沿って点刻列がある。また全面に不規則な縦の浅いしわを装うが、♀では両側で特に深いしわとなる。上翅は黄褐色で基部と会合部が細く黒色、翅面の網目紋様も黒色を呈するが側縁にそって黒色紋を欠く。上翅は細かく点刻され、中央に3列の点刻列がある。平地や丘陵地の休耕田、放棄水田、池沼などの水域に生息している。灯火にも飛来する。



写真提供：市川憲平

国内分布

北海道、本州、四国、九州

県内分布記録

神戸市、尼崎市、西宮市、伊丹市、宝塚市、猪名川町、豊岡市、養父市、香美町、丹波市

選定理由

人為性		特殊生息環境	学術性		
個体数激減	生息環境激変		分布が極限	分布の限界	希少
○	○		○		



特記事項

近年の記録、情報が少なく、生息地や個体数の減少が危惧される。

保護上の留意点